

災害対応 知事の実績果たせ

停電は自然災害でない

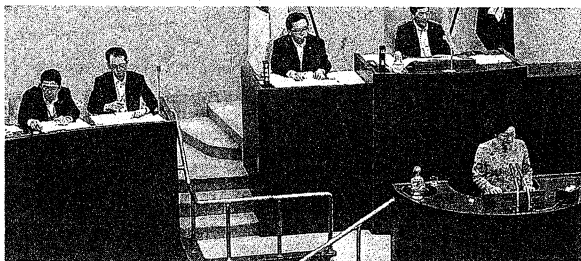
北海道議会 真下議員の追及

北海道全域295万戸停電で道民の生活と農業・畜産に甚大な被害を与えたブラックアウト。道議会では、日本共産党の宮川潤道議の代表質問(21日)に続いて、真下和子道議団長が27日、高橋はるみ知事を厳しく追及しました。(高橋拓丸)

真下氏は、地震発生から3時間以上たつて登庁した高橋知事に、道災害対策本部長としての初動と情報発信の対応をただし

■初動対応遅れ

真下 知事はたどちに登庁したのですか。いつこのよう



真下和子議員(左)と高橋知事(右)の質疑応答の様子(27日、道議会)

か。災害対策本部長の役割を果たしたと胸をはって見えるのか。

高橋 防災担当部局に指示した。適時、状況の報告を受け、私から指示をし、的確な応答がとれたと考えている。今後検証を進める。

言い訳と強弁に終始する高橋知事に、真下氏は「知事が登庁しない間に重大な災害が進行していた。本部長が知事公邸になんのために待機していたのか。指揮室に駆けつけ刻々集まる情報に的確な指示と判断を出すのが本部長の役割と責任だ」と批判しました。

ブラックアウトのきっかけとなった苫東厚真火力発電所の耐震性能を高橋知事が把握していなかった問題で、真下氏は被災者が「地震は自然災害だったが停電は違つ」と告発していることを訴えました。

真下 知事は苫東厚真の耐震性能が震度5想定だったことを

とを承知していなかったと答えて、国と北電に責任があるとした。全道の火力発電所の耐震についても知事は承知していないのか。これまで道庁内部で問題視したことはなかったのか。

倉本博史経済部長 道では情報提供は受けていない。一

定規模以上の破損事故は、国への報告が義務づけられている。火気発電所の耐震性も知らず、事故が起きて初めて国に報告するといふ答弁には驚くばかり」と強く批判する真下氏。

「知事は巨大地震を経験してなお危機感を持つに至らなかった。北電から耐震性と安全性の報告を受けるべきだ」と再度問うと、知事は「北電に的確な管理を求めていく」とあくまでも北電のせいになりました。

■農林支援策を

トマトやジャガイモなど収穫した作物や農業用施設、農地に

激しい損壊を受けたむかわ町の被害に質問を転じ、道の支援策を問いました。

真下 今年の収穫、来年の作付けにむけてどのように支援していくのか。

梶田敏博農政部長 関係機関と連携し調査を進め、農地や施設の早期復旧に取り組んでいる。これから収穫する作物と併せて来年への営農指導ときめ細かく対応する。

町中の山が崩れた厚真町の森林被害で道の対応をただし

真下 復旧の安全対策と森林経営への復興が必要と考え

幅宮輝雄水産林務部長 2次被害の防止、被害全容を把握し、森林所有者の林業経営の意欲が損なわれないよう取り組む。

「避難所は命と健康を守る場所として機能し、復旧への意欲を回復できる場所」と強調する真下氏。環境改善を求めました。

真下 厳寒期があり、体育館床に雑魚寝する避難所もある現状を知事はどう考えるか。

高橋 医師や保健師を派遣し、心や体のケアを行い、より良好な環境が確保されるよう運営支援に努める。